

過去の災害を学ぶ

過去にあった事件から注意すべきことを学びましょう。

今月、栃木県で高校生による強盗殺人事件が起きてしまいました。残念ないたし増しい事件です。その高校生たちは、いわゆる「闇バイト」によって集められ、他の者から指示を受け犯行に手を貸してしまったということです。今、このような事が頻繁に起きています。中学生も例外ではなく、その被害に巻き込まれることもありうる事です。過去には中学生が闇バイトに参加し事件を起こし、逮捕されました。今回は、この事例から、闇バイトについて考え、学んでください。

令6和年12月16日 午後(2024年) 埼玉県春日部市・特殊詐欺未遂事件

千葉県柏市の中学3年の男子生徒(15)が、高齢女性からキャッシュカードをだまし取ろうとしたとして、詐欺未遂容疑で逮捕されました。

「地元の先輩」から闇バイトに誘われ、秘匿性の高いアプリで指示役から命令を受けて動く「受け子」役をしていました。逮捕のきっかけは中学生の年齢に似つかわしくない、サイズの合わないスーツを着用して歩いていたため、警戒中の警察官に怪しまれて尾行され、現行犯逮捕につながりました。生徒は「クリスマスに遊ぶ金が欲しかった」と供述しています。



中学生にとって「闇バイト」は、単なるアルバイトではなく「犯罪への入り口」です。SNS やオンラインゲームを通じて、知らないうちに重大な事件の実行役に仕立て上げられる危険が身近に迫っています。

1. 中学生が狙われる理由と背景

アルバイトが原則禁止であるため、労働基準法により、中学生は原則として働くことができません。正規の仕事が見つからない中、「すぐ稼げる」という闇バイトの甘い言葉に騙されやすくなります。SNS やゲームでの接触: X(旧 Twitter)や Instagram だけでなく、オンラインゲーム内のチャットを通じて誘われるケースが増えています。「ホワイト案件」という嘘・・・「荷物を運ぶだけ」「指定された場所に行くだけ」といった、一見犯罪とは思えない軽い表現で募集されます。

2. 闇バイトの恐ろしい実態

一度関わってしまうと、以下のリスクが一生を台無しにします。

「出し子(現金引き出し役)」や「受け子」として利用され、実際に女子中学生が逮捕される事例も発生しています。また、個人情報による脅迫をされます。応募時に身分証明書の画像を送られるため、「辞めたい」と言っても「家に行く」「家族にバラす」と脅され、抜け出せなくなります。捨て駒にされる: 犯罪組織のトップは顔を出さず、捕まるのは中学生などの「実行役」だけです。

3. 注意すべき「怪しい言葉」

SNS などで以下のような言葉を見かけたら、それは闇バイトの可能性が非常に高いです。

「高額即金」「即日現金」「ホワイト案件」「安全に稼げる」「書類(荷物)を受け取るだけ」「運ぶだけ」「シグナル(Signal)」や「テレグラム(Telegram)」などの匿名アプリのインストールを指示されます。

4. 巻き込まれないための対策

知らない人からの誘いは無視: SNS やゲームで親しくなっても、お金の話が出たらすぐにブロックしてください。個人情報を絶対に教えない: 自分の住所や学校、身分証の写真は絶対に送ってはいけません。

もし応募してしまったり、脅されたりした場合は、一人で悩まずに家族や学校の先生、または警察にすぐに相談してください。

闇バイトを見分けるポイント 以下のような特徴がある求人は、闇バイトの可能性が極めて高いです。

○異常な高額報酬

「日給 10 万円」「短時間で 100 万円」など、仕事内容に見合わない報酬。

○曖昧な仕事内容

「運ぶだけ」「受け取るだけ」「書類の回収」など。

○匿名アプリへの誘導

X(旧 Twitter)などの DM から、Telegram や Signal といった秘匿性の高いアプリへ誘導される。

○怪しい隠語の使用

「受け」「出し」「UD」「叩き(強盗)」「案件」などの言葉が使われています。



もしも・・・関わってしまった・不安な場合「抜け出したい」「個人情報を送ってしまった」という時は、一人で悩まずすぐに警察へ相談してください。

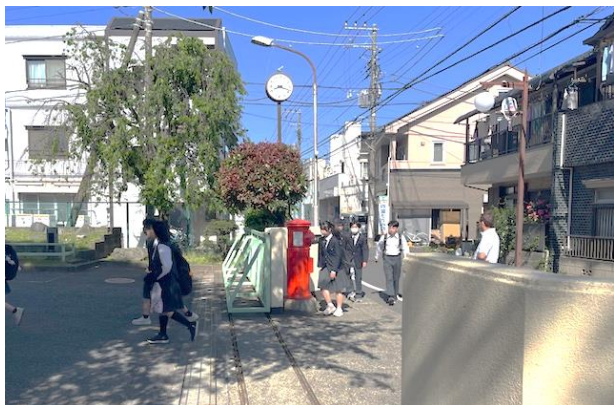
警察相談専用電話 9110(全国共通・24 時間受付)

警察庁ウェブサイト いわゆる「闇バイト」の危険性について

今月の取り組み

5 月の安全に関する取り組みを紹介します。

★5月7日(木)・12日(火) 登校指導



5 月の登校指導です。今月の登校指導は 7 日・12 日の二日間実施しました。

新学期が始まり1か月がたちました。また、ゴールウィークも終わり、通常の活動が動き出しました。

人は慣れると・・・このぐらいなら大丈夫と油断がうまれてしまいます。登校時も油断は禁物です。学校の前の通りは朝は交通量が多いのでやはり注意が必要です。あらためて登校の仕方を確認していきました。また、連休がありましたので生活のリズムを整えることも大切です。

心身ともにいい状態で登校できるようにしていきましょう。朝の始まりは元気のいい「おはようございます」の挨拶からです

!

★5月8日(月) 避難訓練 (火災対応)

令和8年度はじめての校庭への避難行動をおこなう避難訓練を行いました。1年生にとっては初めての行動訓練です。避難の大原則である「お・か・し・も」、階段の通行の仕方、そして今回は火災対応の避難ですので、煙を吸い込むのを防ぐためのハンカチの使用などポイントを押さえながらの実施となりました。

繰り返しの訓練が自分を守るための動作や知識を身に付けることとなります。これからはしっかりと取り組んでいきましょう。

今回の訓練は全生徒、敏速な行動ができ、きちんと取り組めていて立派でした。講評では煙を吸い込んだりでの被害などについて話がありました。心にしっかりととどめておきましょう。



安全指導

5月の安全指導を振り返ります。

★5月25日(月) 安全指導 SNSの使い方

今月の安全指導は担当より昼休みに放送にておこないました。

内容は SNS の使い方です。昨今、SNS に関連したトラブルが広がっています。TikTokなどの新たなものも増えてきました。うまく使えば利便性もよく、とても有効なものです。しかし、その裏には危険も伴っています。登校する内容が誹謗中傷であったり、無許可の画像であったりとトラブルが多く発生します。ささいな投稿が人の人生を狂わしてしまうなど、とても重大なことにもつながります。また、不用意なアクセスなどが闇バイトへの関与につながるなども取りざたされています。

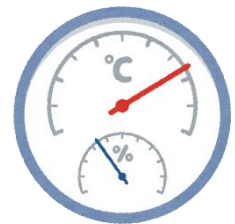
3中では SNS ルール(KDSNS)があります。それをしっかりと守り、被害にあわないよう防止をしていきましょう。自分のために、みんなのために。



安全を考える

暑い日の活動での注意 → 熱中症の防止

学校での熱中症事故は、主に「部活動中(運動部)」や「体育の授業」、「遠足・校外学習」で発生しています。特に梅雨明けの7月上旬～8月にかけて多発しており、運動開始から短時間(1～2時間以内)での発症や、活動を終えて帰宅する途中で容体が急変するケースが目立ちます。具体的な災害事例と教訓は以下の通りです。



1. 運動部活動中(ランニングや基礎練習)

気温 24℃・湿度 52%の環境下、運動開始から約 2 時間後に男子生徒が熱中症で死亡。

【原因・教訓】気温がそれほど高くなくても、湿度が高い日は体感温度が上がり発汗による体温調節が難しくなります。激しい運動を伴う部活動では特に注意が必要です。

2. 体育の授業・校外学習(炎天下の活動)

校外学習(公園での虫捕りや遊具遊び)で往復徒歩移動し、帰校後に教室で意識を失い死亡。また、体育の授業でグラウンドから校舎に戻る際に児童が倒れて死亡。

【原因・教訓】直射日光下だけでなく、運動の前後や休憩中にもリスクは潜んでいます。「疲れた」という児童のサインを見逃さず、こまめな水分・塩分補給と日陰での休息が不可欠です。



3. 宿泊学習・登山(過酷な環境での移動)

中学生が宿泊学習で登山中、気温 27.2 度・湿度 70% の中で歩行中に足がもつれ、意識を失い死亡。

【原因・教訓】屋外での長時間の活動や移動は、体力の消耗と急激な脱水を招きます。天候や湿度を事前に把握し、無理のないスケジュール変更や中止の判断が求められます。

4. 屋内での部活動

体育館や武道場など、直射日光が当たらない屋内でも気温 30℃ 以上の日や、防具・厚手の道着を着用して剣道などをした際に重篤な熱中症が発生。

【原因・教訓】屋内であっても風通しや湿度によっては危険です。WBGT 値(暑さ指数)を測定し、暑熱順化(体が暑さに慣れること)ができていない時期は特に強度を落とす必要があります。

★熱中症の予防には、「暑さを避ける」「こまめな水分・塩分補給」「日頃の体調管理」の 3 つが基本です。室内ではエアコンを適切に使用し、屋外では日傘や帽子を活用しましょう。喉が渴く前に水分を補給することが大切です。

★屋内での対策エアコンの活用

節電を意識しすぎず、**室温が 28 度を超えないように設定**してください。直射日光の遮断が大切です。遮光カーテンやすだれを利用し、部屋に熱がこもるのを防ぎましょう。また、温湿度計を設置し、こまめに室温をチェックすることが重要です。



★外出時の対策直射日光を避ける

日傘や帽子を着用し、なるべく日陰を選んで歩きましょう。**気温が上がりやすい日中の外出はできるだけ控え**、短時間で済ませる工夫をしてください。また、からだを冷やすことも大事です。通気性の良い服を着て、保冷剤や冷たいタオルで首元などを冷やすと効果的です。

★水分・塩分の補給こまめな摂取

喉が渴く前に、コップ 1 杯程度の水分を定期的に飲みましょう。塩分も一緒にとることが大切です。大量に汗をかいた場合は、**水分だけでなく塩分**(スポーツドリンクや塩飴など)の補給も必要です。おすすめの飲み物はミネラルが豊富に含まれる麦茶なども熱中症予防に適しています。



★日頃の健康管理規則正しい生活

しっかりと睡眠とバランスの良い食事をとり、疲れを溜めない体づくりを心がけましょう。**暑熱順化(しょねつじゅんか)**が取れるといいです。本格的に暑くなる前から、無理のない範囲で汗をかく運動や入浴を行い、体を暑さに慣らしておきましょう。熱中症は室内でも夜間でも起こる危険性があります。